



内閣府（防災担当）

平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの 避難に関するワーキンググループ（第3回） 議事要旨

1. 日時

平成30年12月12日（水）10:00～12:00

2. 出席者

田中主査、牛山委員、海堀委員、片田委員、阪本委員、鈴江委員、坪木委員、中貝委員※、
前野委員、毛利委員、森脇委員、山崎委員、行政委員（内閣官房（国土強靱化室）、内閣官房
（事態室）、消防庁、厚生労働省、農林水産省、林野庁、国土交通省、国土地理院※、気象庁）
山本内閣府特命担当大臣（防災）、海堀政策統括官（防災担当）、
米澤官房審議官（防災担当）、小平官房審議官（防災担当）

※ 代理出席

3. 議題

- (1) ワーキンググループとりまとめ（案）について
- (2) その他

4. 議事要旨

○事務局からワーキンググループとりまとめ（案）について説明した上で、各委員よりいただいた主なご意見は下記の通り。

- 国民全体の共通認識のもと、行政主導から住民主体の防災に転換するというのは、日本の防災行政の大転換であり、これの持つ意味を学識者やメディア関係の方々をはじめとし、皆で共有しなければならない。
- 警戒レベルの導入について、レベルは5段階、避難指示、避難勧告は同じレベルで柔軟な運用とし、避難勧告を強いメッセージで出すというとりまとめの方向とする。
- 警戒レベルのカラーリングについて、どの色にするかは、色々な考え方があるので、拙速に決めない方がよい。

以上